Gulliver

2023年 2月期

決算説明会資料 2023年 2月期 上期

Financials & Business

東証プライム 7599

IDOM Inc.

2022年10月17日

目次

Gulliver

Financials

1. 2023年 2月期 上期実績 ❶ ❷ 4
2. 業績予想の修正 22

Business

1. 豪州事業の売却について 30
2. 「中期経営計画2023 – 2027」サマリー 35
3. 中古車買取事業と中古車小売事業 42
4. 投資家の皆様からのご質問 66

Appendix. 業績・財務の参考情報 69

2023年2月期 上期のハイライト

Gulliver

決算

国内コア事業（※1）は
売上高・営業利益ともに増収増益

- 2023年2月期 上期の国内コア事業は、新収益認識基準の減益を乗り越えて増収増益。

売上高	営業利益
1,793億円	74億円
前期比 ＋19.0%	前期比 ＋8.6%

店舗

成長戦略の大型店と
整備工場のオープン

- 大型店は3店舗オープン。 年間計画通りの進捗
- 整備工場は3工場オープン。 年間計画通りの進捗

M&A

豪州子会社の株式譲渡による
特別利益を計上

- 2022年7月に豪州子会社の株式譲渡を完了し、特別利益を計上。

※1：「国内コア事業」は単体に子会社のガリバーインシュアランスと東京マイカー販売を含めた事業。（詳細はP5ご参照。）

Gulliver

2023 Q2 Financials

1. 2023年 2月期 上期実績

（❶国内コア事業）

※グラフ・表などの数値は単位未満を四捨五入、比率は百万円単位で計算後、単位未満を四捨五入して表示。

補足

連結対象と「国内コア事業」と地域セグメントの説明

Gulliver

会計上の連結範囲となるグループ会社

日本セグメント

国内コア事業

㈱IDOM	中古車販売事業及びこれらに付帯する事業
㈱ガリバーインシュアランス	保険代理店事業　2023年2月末に合併予定
東京マイカー販売㈱	中古車カスタムカーの売買に関わる事業

㈱IDOM CaaS Technology

自動車のリース及び
レンタル事業

㈱IDOMビジネスサポート

事務処理等の業務の受託

豪州セグメント

IDOM Automotive Group Pty Ltd.

Gulliver Australia Pty Ltd.

※左記については期中にすでに売却済。

その他セグメント

Gulliver U.S.A.　米国国内における中古車の売買

国内コア事業

2023年2月期 上期売上高の推移

売上高の推移

- 国内コア事業売上高は、前期比19.0%増となる1,793億円。

※「2023」表記は、2023年2月期を示す。

国内コア事業

2023年2月期 上期営業利益の推移

Gulliver

営業利益の推移

- 国内コア事業営業利益は、前期比 8.6%増（営業利益率 4.1%）となる74億円。

国内コア事業

2023年2月期 上期P/L実績（前期比）

Gulliver

（億円）	前期 2022・上期	今期 2023・上期	前期比 増減率（%）
売上高	1,506	1,793 ❶	+286
			+19.0%
営業利益	68	74	+6
営業利益率（%）	4.5%	4.1%	+8.6%
経常利益	67	❷ 72	+6
経常利益率（%）	4.4%	4.0%	+8.5%
親会社株主に帰属する四半期純利益	37	90	❸ +53
四半期純利益率（%）	2.4%	5.0%	+145.1%

❶オークション相場の影響により単価上昇。

❷上期実績として全ての段階利益において過去最高益。

❸一時的な損益の計上（1）（2）（3）

（1）前期は本社移転費用を8.5億円特別損失に計上。

（2）豪州子会社の株式譲渡により、過年度に計上したのれんの減損損失額が課税所得から減算。

（3）豪州子会社の株式譲渡による関係会社株式売却益29億円を特別利益に計上。

国内コア事業

2023年2月期 上期営業利益の増減要因分析

Gulliver

営業利益の増減分析（前期比）

❶ 新収益認識基準適用による影響により4億円の減益。

❷ 小売台数は店舗数の純減により減少も大型店小売台数は前年同期比で増加。小売台あたり粗利は増加。

❸ 卸売は台数増加。卸売台あたり粗利はQ1での減少影響により減少。

❹ 本社移転による地代家賃の減少、新卒採用抑制による人件費の減少。

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年３月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第１四半期連結会計期間の期首から適用しております。

国内コア事業

2023年2月期 上期P/L実績（当初予想比）

Gulliver

（億円）	当初予想 2023・上期	今期実績 2023・上期	当初予想比 増減率（%）
売上高	1,550	1,793 ❶	+243
			+15.7%
営業利益	68	74 ❷	+7
営業利益率（%）	4.4%	4.1%	+10.1%

❶売上高はオークション相場が想定を上回り、車両単価が上昇した影響で増加。

❷営業利益は卸売台数が想定を超えた影響や小売台当たり粗利が増加したことにより増加。

国内コア事業

四半期別内訳の推移（直近3期分）

Gulliver

売上高の推移

営業利益の推移

Gulliver

2023 Q2 Financials

1. 2023年 2月期 上期実績

（❷連結P/L、連結B/S、連結キャッシュフロー）

補足

豪州子会社株式譲渡による上期連結対象期間について

Gulliver

前期と今期の連結対象期間

豪州子会社の
P/L
連結対象期間

- 今期豪州子会社の株式譲渡が完了。
- 前期上期の豪州事業の連結対象期間６か月に対し、今期上期は３か月のみとなる。

連結

2023年2月期上期P/L実績（前期比）

Gulliver

（億円）	前期 2022・上期	今期 2023・上期	前期比 増減率（%）
売上高	2,278	2,255	△23 △1.0%
営業利益	94	86	△8
営業利益率（%）	4.1%	3.8%	△8.7%
経常利益	90	83	△7
経常利益率（%）	4.0%	3.7%	△8.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益	53	75	+22
当期純利益率（%）	2.3%	3.3%	+41.5%
豪州P/L連結対象期間	6ヶ月間	3ヶ月間	

1

2

❶豪州子会社の株式譲渡により減益。

❷豪州子会社の株式譲渡による関係会社株式売却益を8億円特別利益に計上。

連結

2023年2月期上期P/L実績（当初予想比）

Gulliver

（億円）	当初予想 2023・上期	今期実績 2023・上期	前期比 増減率（%）
売上高	2,068	2,255	＋187
			＋9.0%
営業利益	86	86	＋0
営業利益率（%）	4.2%	3.8%	＋0.2%
経常利益	82	83	＋1
経常利益率（%）	3.9%	3.7%	＋1.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益	72	75	＋3
当期純利益率（%）	3.5%	3.3%	＋4.4%
豪州P/L連結対象期間	4ヶ月間	3ヶ月間	

❶売上高はオークション相場が想定を上回り、車両単価が上昇した影響で増加。

❷国内コア事業は過去最高益を更新するも、豪州連結対象期間が当初予想の４か月から３か月となった影響で当初予想とほぼ同水準。

連結

四半期別内訳の推移（直近3期分）

Gulliver

売上高の推移

営業利益の推移

連結

B/Sサマリー

Gulliver

連結・貸借対照表（2022年8月期末）

資産
1,733億円

- 現預金 565億円
- 在庫 664億円
- 有形固定資産 251億円
- その他 253億円

負債
1,157億円

- 有利子負債 771億円
- その他 386億円

純資産
576億円

- 576億円
- 自己資本比率33%

- 総資産は1,733億円。豪州売却の影響により前期末比165億円減少。
- 現金は豪州売却の影響と有利子負債返済期日前の為、108億円積み上げ。
- ネット有利子負債は2月末比123億円減少。
- 新収益認識基準の適用によりその他負債が増加するも、豪州売却の影響により自己資本比率が2月末29%から約4%増加し33%。

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年３月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第１四半期連結会計期間の期首から適用しております。

連結

キャッシュ・フローと在庫の状況

Gulliver

Q2連結キャッシュ・フロー

※豪州売却による投資CFの影響は除く

単体期末在庫金額と在庫回転日数

※在庫回転日数=商品（期首・期末加重平均）/売上原価

- 営業キャッシュフローは73億円。
- 豪州売却の影響を除いた投資キャッシュフローは40億円。
- フリー・キャッシュフローは33億円のプラス。
- オークション相場の影響により在庫金額は638億円と前年同期から30%増加。
- 販売需要に応じた在庫コントロールを継続して実施した結果、在庫回転日数は前年比同水準を維持。

今期オープンした大型店

Gulliver

草津南店（2022年6月オープン）

滋賀県草津市

直近の店舗展開

【新規大型店オープン】

- 長野店（2022年4月）整備工場 併設
- 1号知立店（2022年4月）整備工場 併設
- 草津南店（2022年6月）整備工場 併設

今期の新規大型店の出店数 ＋3 店舗
（今期出店計画7店舗）

大型店舗数	32 店舗 （2022年8月末現在）

今期オープンした整備工場

長野整備工場（2022年4月オープン）

長野県長野市

直近の店舗展開

【新規整備工場オープン】
- 長野整備工場（2022年4月）
- 1号知立整備工場（2022年4月）
- 草津南整備工場（2022年6月）

今期の整備工場の出店数 ＋3 工場

整備工場数	11 工場 うち7工場が 指定工場取得済み

豪州子会社の株式譲渡による特別利益の計上

Gulliver

2023年2月期の業績インパクト	・2022年４月14日開示の「2023年２月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」の記載数値から修正なし。 ・2023年２月期 第2四半期に、特別利益として関係会社株式売却益を連結約8億円、単体約29億円計上を予定通り計上。

特別利益の計上額		
	連結	8億円
	単体	29億円

連結・単体で差異が生じる背景	単体会計上は、買収時の取得価額をベースに算出。（国内コア事業も単体と同じ数値を採用。） 連結会計上は、取得価額からのれん償却累計額を減算、さらに各期の豪州子会社の純利益を加算し算出。

Gulliver

2023 Q2 Financials

2. 業績予想の修正

連結

2023年2月期 通期修正予想（当初予想比）

Gulliver

（億円）	当初予想 2023・通期	修正予想 2023・通期	当初予想差 当初予想比（%）
売上高	3,668	4,100	+432
			+11.8%
営業利益	155	170 1	+15
営業利益率（%）	4.2%	4.2%	+9.7%
経常利益	148	164	+16
経常利益率（%）	4.0%	4.0%	+10.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	116	129	+13
当期純利益率（%）	3.2%	3.1%	+10.8%

1 国内コア事業が好調を維持する見通し。

連結

2023年2月期 通期修正予想（前期比）

Gulliver

（億円）

	実績 2022・通期	修正予想 2023・通期	前期差	前期比（%）
売上高	4,595	4,100	△495	△10.8%
営業利益	185	170	△15	△8.0%
営業利益率（%）	4.0%	4.2%		
経常利益	176	164	△12	△6.6%
経常利益率（%）	3.8%	4.0%		
親会社株主に帰属する四半期純利益	108	129	+21	+19.0%
当期純利益率（%）	2.3%	3.1%		

1

❶豪州売却の影響により減収・減益の見込み。

国内コア事業

2023年2月期 通期修正予想（当初予想比）

Gulliver

（億円）

	当初予想 2023・通期	修正予想 2023・通期	当初予想差	当初予想比（%）
売上高	3,100	3,580	+480	+15.5%
営業利益	135	158 ❶	+23	17.0%
営業利益率（%）	3.9%	4.4%		

❶オークション相場の上昇トレンドが下期も継続し、車両単価、卸売台数、小売台あたり粗利はそれぞれ増加する見通し。

小売台数は通期で当初見通し通り、下期に回復する見通し。

卸売台数は下期も上期の趨勢が継続する見通し。

国内コア事業

2023年2月期 通期修正予想（前期比）

Gulliver

（億円）

	実績 2022・通期	修正予想 2023・通期	前期差
売上高	3,080	3,580	+500
			前期比（%） +16.2%
営業利益	135	158 ❶	+23
営業利益率（%）	4.4%	4.4%	+17.2%

❶国内コア営業利益は前期比23億円の増益、17%の成長となる見通し。

国内コア事業

通期営業利益推移　修正予想

Gulliver

国内コアの営業利益推移

- 下期も大型店・整備工場を成長ドライバーとし、卸売台数、小売台あたり粗利が増加が継続する見通し。
- 4期連続増益を目指す。

※「2023」表記は、2023年2月期を示す。

Gulliver

Business

2023年 2月期 上期実績
「中期経営計画2023-2027」について

IDOM Inc.

Gulliver

1 豪州子会社の株式譲渡について

2 「中期経営計画2023 – 2027」サマリー

3 中古車買取事業と中古車小売事業

4 投資家の皆様からのご質問

Gulliver

1 豪州子会社の株式譲渡について

2 「中期経営計画2023 – 2027」サマリー

3 中古車買取事業と中古車小売事業

4 投資家の皆様からのご質問

中長期的に目指す事業ポートフォリオ

Gulliver

成長性と資本効率が高い事業に選択と集中を行い、経営資源の再配分をする方針に基づき、
成長性と資本効率が高い大型店展開に重点的に投資を行う。

豪州新車ディーラー事業の成長性

Gulliver

これまで

- メーカーとディーラーの共存共栄の関係
- 販売店舗による新車販売

今後の見込み

- メーカー直販モデルにシフト
- EV化を皮切りにオンライン販売へ注力

今後、メーカーとディーラーの関係性に変化。

中長期的な視野でみると、高い成長性を見込むことは困難と判断。

豪州新車ディーラー事業の資本効率

Gulliver

在庫

商品単価が高い新車在庫の保有が必要。

固定資産

店舗への設備投資額が高い。M&Aによるディーラー権の取得が必要。

利益率

利益率が低い事業構造。豪州事業の営業利益率は約2%（※）と水準が低い。

中古車事業と比較し、新車事業は投下資本が大きい一方、
利益率が低い事業構造にあり、資本効率が低い。

※ 2020年2月期～2022年2月期までの3年間平均

豪州子会社株式譲渡の決定プロセス

Gulliver

投資判断基準

「資本効率」と「成長性」

譲渡決定に至るまでの決定プロセス	❶ 常に、資本効率（ROIC）と成長性を重視した事業ポートフォリオを用いて、各事業の重点投資や撤退の経営判断。 ❷ 豪州事業については、約3年前より前頁の「自動車メーカーのディーラー施策の変化」のマクロ環境の変化から当該事業の成長性について、両社長で協議・検討を進めていた。 ❸ 経営会議と取締役会において度重なる議論を重ね、2022年4月の取締役会において売却を正式に決定。

Gulliver

1 豪州子会社の株式譲渡について

2 「中期経営計画2023 – 2027」サマリー

3 中古車買取事業と中古車小売事業

4 投資家の皆様からのご質問

中期経営計画2023 – 2027の公表

- 中期経営計画の公表

2022/4/15（金）に「中期経営計画 2023-2027」を公開。

参照リンク

https://221616.com/idom/wp-content/uploads/2022/08/chukei_20220415.pdf

中期経営計画の位置づけ

Gulliver

2022

小売モデルへの転換と
安定成長

2023

2027

2030

中期経営計画
2023 - 2027

中期経営計画

中期経営計画

2050

来たる
モビリティ社会

事業環境の変化

消費者マインドの変化

来たるモビリティ社会を見据えて、
資本効率の向上と成長の両立を
目指す。

中期経営計画2023～2027の計画数値

Gulliver

5 年後の営業利益目標

5年後の連結目標数値（2027）

直営店小売台数	営業利益率
17万台	5%以上
営業利益	**ROIC**
210億円	10%以上

フリーキャッシュフロー
着実に拡大

国内コア事業の粗利構造

Gulliver

		コア事業の粗利額		
❶中古車買取事業	Gulliver店舗（主に買取店）にて、中古車の買取を行う。	卸売台数	×	卸売 台あたり粗利
❷中古車小売事業	Gulliver店舗（主に大型店・中型店 ）にて、中古車の小売を行う。	小売台数	×	小売 台あたり粗利
❸付帯事業	中古車の小売に伴う、オートローン、自動車保険、保証、車検、整備などの付帯商品の販売。	商品ごとの 販売個数	×	商品ごとの 粗利

国内コア事業の流通フロー

Gulliver

❶中古車買取事業

Gulliver店舗（主に買取店）
にて、中古車の買取を行う。

❷中古車小売事業

Gulliver店舗（主に大型店・中型店）
にて、中古車の小売を行う。

❸付帯事業

中古車の小売に伴う、オートローン、
自動車保険、保証、車検、
整備などの付帯商品の販売。

2つの店舗形態

Gulliver

	買取店	販売店	
店舗フォーマット		中型店 中型店タイプ 外車専門店タイプ カスタムカー専門店タイプ	大型店 大型店タイプ 整備工場併設タイプ 整備工場＋板金工場併設タイプ
店舗数	218店舗	227店舗	
特徴	買取専門店	・顧客ニーズに合わせた専門店 ・大型店出店候補エリアの既存店	・地域一番の圧倒的な品揃え ・ロードサイドでの存在感 ・ディーラーを超えた接客とアフターサービス
出店戦略	効率化の追求 出張買取の併用	・大型店の出店 ・空白エリアへ積極的に出店	・既存店の大型化（リプレース）によるシェア拡大 ・新たな顧客ニーズを創出する専門店の出店

Gulliver

1 豪州子会社の株式譲渡について

2 「中期経営計画2023 – 2027」サマリー

3 中古車買取事業と中古車小売事業

4 投資家の皆様からのご質問

2事業のそれぞれの施策

Gulliver

中古車買取事業

中古車小売事業

付帯事業

Gulliver

中古車買取事業

中古車小売事業

付帯事業

中古車買取事業における買取店の現状

Gulliver

中古車買取事業

Gulliver店舗（主に買取店）
にて、中古車の買取を行う。

店舗の出店計画

現在、買取店の店舗数は218店舗で、既に全国に展開済み。

Gulliver

中古車買取事業

中古車小売事業

付帯事業

中古車小売事業の拡大

Gulliver

中古車小売事業

Gulliver店舗（主に大型店・中型店）にて、中古車の小売を行う。

付帯事業

中古車の小売に伴う、オートローン、自動車保険、保証、車検、整備などの付帯商品の販売。

店舗の出店計画

大型店は中期経営計画における成長ドライバー。
大型店、中型店における付帯事業も成長余地を有する。

小売粗利額（台数×１台あたりの粗利額）の拡大策

Gulliver

縦軸の❶大型店の出店に加え、横軸の❷付帯商品の拡販を進めることで、
小売粗利額のさらなる拡大を狙う。

小売粗利額（台数）の拡大策

Gulliver

大型店の出店により、小売台数を増加する。

小売粗利額（１台あたりの粗利額）の拡大策

Gulliver

付帯商品の拡販のため、商品開発、人材育成、オペレーションの改善など様々な取り組みを実施。

「中古車小売事業」の３つの施策

Gulliver

大型店の出店

大型店併設の
整備工場の展開

「付帯商品」
拡販の取り組み

Gulliver

大型店の出店

大型店併設の
整備工場の展開

「付帯商品」
拡販の取り組み

中長期的に目指す事業ポートフォリオの姿

Gulliver

成長性と資本効率が高い事業に選択と集中を行い、経営資源の再配分を実施。
今後は、成長性と資本効率が高い事業へ重点的に投資を行う。

大型店の特徴と概要

Gulliver

【主な特徴】

①	洗練された店舗デザイン
②	地域最大級の展示台数
③	エリア毎に最適化された 価格と品揃え
④	車選びを楽しむための商談エリア

【大型店の概要】

敷地面積	２,５００坪～	設備投資額	約２億円
展示台数	約３００台	投資回収期間	約３年（税引後ＣＦ、設備投資の回収）

今期オープンした大型店

Gulliver

草津南店（2022年6月オープン）

滋賀県草津市

直近の店舗展開

【新規大型店オープン】

- 長野店（2022年4月）整備工場 併設
- 1号知立店（2022年4月）整備工場 併設
- 草津南店（2022年6月）整備工場 併設

今期の新規大型店の出店数 ＋3 店舗
（今期出店計画7店舗）

大型店舗数	32 店舗 （2022年8月末現在）

大型店の出店イメージ

これまで
中期経営計画 2023-2027
将来
出店拡大の余地
シェア拡大のための大型店の出店余地は300店舗以上。
出店へのスタンス
好立地があれば、50店舗を超えるペースでの出店も。
80 店舗
32 店舗※
2021
2022
2023
2024
2025
2026
2027
20xx年
※2022年8月末現在

大型店の出店ペースとともに伸びる小売台数

Gulliver

大型店の出店

大型店併設の
整備工場の展開

「付帯商品」
拡販の取り組み

整備工場の特徴と概要

【主な特徴】

①	最新設備を完備
②	ガリバー店舗に併設
③	洗練された外観デザイン
④	整備状況が確認できる立ち合い整備
⑤	エリアによっては鈑金工場併設

【整備工場の概要】

作業項目	車検、納車前整備
整備工場数	11工場 うち７工場が指定工場取得済み 2022年8月31日時点

設備投資額	約２億円
投資回収期間	約３年（税引後ＣＦ、設備投資の回収）

今期オープンした整備工場

長野整備工場（2022年4月オープン）

長野県長野市

直近の店舗展開

【新規整備工場オープン】
- 長野整備工場（2022年4月）
- 1号知立整備工場（2022年4月）
- 草津南整備工場（2022年6月）

今期の整備工場の出店数 ＋3 工場

整備工場数	11 工場 うち7工場が 指定工場取得済み

認証整備工場と指定整備工場

Gulliver

整備工場の推移

認証整備工場 （稼働段階）	車検を整備工場内で完結できない。 地方運輸局長が自動車分解整備事業を認証した工場
指定整備工場 （本格化段階）	車検を整備工場内で完結できる。 地方運輸局長から指定自動車整備事業の指定を受けた工場

整備工場の外観と内観

Gulliver

Gulliver

大型店の出店

大型店併設の
整備工場の展開

「付帯商品」
拡販の取り組み

付帯商品のラインナップ

Gulliver

ベースとなる提供サービス　中古車の小売

拡がる
付帯サービス

購入関連	オートローン	保険関連	購入後関連
保証（最長10年）	らくらく84	自動車保険	車検・整備
オプションパーツ販売	プラスローン	自賠責保険	板金修理
オプションコーティング	すえおきプラン	ほけろん	返品サービス
納車前点検・整備	すきっぷローン		廃車手続き
	ほけろん		

付帯商品拡販に向けたトライアル

Gulliver

商品開発（一例）

- ほけろん（保険とローンの組み合わせ）
- 楽のり
- 2~10年の長期保証開発

オペレーション（一例）

- 業務フローの改善
- ツール開発
- SNSの活用

人材育成（一例）

- 付帯評価制度（インセンティブ）
- 付帯商談教育
- オープン・シェアの活用

付帯商品拡販のため、約20項目にも及ぶ「商品開発」「人材育成」「オペレーション」の改善を同時並行で進めて高品質な平準化を目指す。

Gulliver

1 豪州子会社の株式譲渡について

2 「中期経営計画2023 – 2027」サマリー

3 中古車買取事業と中古車小売事業

4 投資家の皆様からのご質問

投資家の皆様からのご質問

質問❶	オークション相場が高止まりの状況だが、相場が下落した場合、業績への影響はあるのか？
質問❷	買取仕入からオークション仕入にシフトしているように見えるが、粗利にどのような影響があるのか？
質問❸	EVの販売増加によるIDOMのビジネスへの影響はあるのか？

来たるモビリティ社会を見据えて

NEXT GENERATION MOBILTY CHALLENGE

更なる挑戦の始まり

IDOMは循環型の中古車流通ビジネスを追求してきました。
それは、常に社会や消費者マインドの変化に対応してきたとも言えます。
社会や顧客が求める価値とは何かを追求し、提供を続けてきました。

来たるモビリティ社会においても
こうした考えや取り組みに変わりはありません。

モビリティ社会における提供価値の創出を常に追求し、
サービス・コンテンツの開発を継続しています。

IDOMの更なる挑戦が始まります。

Gulliver

Fact Book

Appendix. 業績・財務の参考情報

IDOM Inc.

[連結・単体]損益計算書（第2四半期累計）

Gulliver

第2四半期累計（連結）	2020年 2月期 第2四半期累計		2021年 2月期 第2四半期累計		2022年 2月期 第2四半期累計		2023年 2月期 第2四半期累計			
	実績（百万円）	構成比（%）	実績（百万円）	構成比（%）	実績（百万円）	構成比（%）	実績（百万円）	構成比（%）	増減額（百万円）	前期比（%）
売上高	179,276	100.0	178,109	100.0	227,775	100.0	225,478	100.0	△2,296	△1.0
売上原価	142,478	79.5	144,145	80.9	185,308	81.4	187,209	83.0	1,901	1.0
売上総利益	36,797	20.5	33,963	19.1	42,466	18.6	38,269	17.0	△4,197	△9.9
販売費及び一般管理費	32,173	17.9	29,910	16.8	33,025	14.5	29,652	13.2	△3,373	△10.2
営業利益	4,624	2.6	4,053	2.3	9,440	4.1	8,616	3.8	△824	△8.7
経常利益	3,634	2.0	3,147	1.8	9,011	4.0	8,280	3.7	△730	△8.1
税金等調整前四半期純利益	3,292	1.8	2,717	1.5	7,951	3.5	9,181	4.1	1,230	15.5
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,124	1.2	1,375	0.8	5,311	2.3	7,516	3.3	2,204	41.5

第2四半期累計（単体）	2020年 2月期 第2四半期累計		2021年 2月期 第2四半期累計		2022年 2月期 第2四半期累計		2023年 2月期 第2四半期累計			
	実績（百万円）	構成比（%）	実績（百万円）	構成比（%）	実績（百万円）	構成比（%）	実績（百万円）	構成比（%）	増減額（百万円）	前期比（%）
売上高	129,806	100.0	134,150	100.0	150,239	100.0	178,303	100.0	28,064	18.7
売上原価	100,099	77.1	107,145	79.9	120,147	80.0	147,944	83.0	27,797	23.1
売上総利益	29,706	22.9	27,004	20.1	30,092	20.0	30,359	17.0	267	0.9
販売費及び一般管理費	25,424	19.6	23,736	17.7	23,983	16.0	23,601	13.2	△382	△1.6
営業利益	4,282	3.3	3,267	2.4	6,108	4.1	6,757	3.8	649	10.6
経常利益	3,721	2.9	3,101	2.3	5,939	4.0	6,560	3.7	621	10.4
税引前四半期純利益	3,397	2.6	2,383	1.8	4,655	3.1	9,537	5.3	4,882	104.9
四半期純利益	2,253	1.7	2,005	1.5	3,170	2.1	8,575	4.8	5,405	170.5

[連結・単体]損益計算書（通期）

Gulliver

通期（連結）	2020年 2月期		2021年 2月期		2022年 2月期		2023年 2月期			
	実績（百万円）	構成比（%）	実績（百万円）	構成比（%）	実績（百万円）	構成比（%）	予想（百万円）	構成比（%）	増減額（百万円）	前期比（%）
売上高	361,684	100.0	380,564	100.0	459,532	100.0	410,000	100.0	△49,532	△10.8
売上原価	287,724	79.6	307,754	80.9	373,519	81.3	336,600	82.1	△36,919	△9.9
売上総利益	73,959	20.4	72,810	19.1	86,013	18.7	73,400	17.9	△12,613	△14.7
販売費及び一般管理費	64,868	17.9	62,239	16.4	67,528	14.7	56,400	13.8	△11,128	△16.5
営業利益	9,091	2.5	10,571	2.8	18,485	4.0	17,000	4.1	△1,485	△8.0
経常利益	6,867	1.9	9,642	2.5	17,561	3.8	16,400	4.0	△1,161	△6.6
税金等調整前当期純利益	3,917	1.1	4,524	1.2	15,750	3.4	16,500	4.0	749	4.8
親会社株主に帰属する当期純利益	3,545	1.0	1,484	0.4	10,794	2.3	12,850	3.1	2,055	19.0

通期（単体）	2020年 2月期		2021年 2月期		2022年 2月期		2023年 2月期			
	実績（百万円）	構成比（%）	実績（百万円）	構成比（%）	実績（百万円）	構成比（%）	予想（百万円）	構成比（%）	増減額（百万円）	前期比（%）
売上高	258,008	100.0	275,710	100.0	306,733	100.0	357,000	100.0	50,266	16.4
売上原価	199,406	77.3	219,258	79.5	245,661	80.1	292,700	82.0	47,038	19.1
売上総利益	58,602	22.7	56,451	20.5	61,071	19.9	64,300	18.0	3,228	5.3
販売費及び一般管理費	50,867	19.7	48,593	17.6	49,164	16.0	50,000	14.0	835	1.7
営業利益	7,735	3.0	7,858	2.9	11,907	3.9	14,300	4.0	2,392	20.1
経常利益	6,964	2.7	7,642	2.8	11,573	3.8	13,800	3.9	2,226	19.2
税引前当期純利益	3,457	1.3	△458	－	9,450	3.1	21,000	5.9	11,549	122.2
当期純利益	3,500	1.4	△2,081	－	6,553	2.1	18,200	5.1	11,646	177.7

[連結]貸借対照表

Gulliver

（単位：百万円）

	当連結会計年度末（2022年2月28日）	当期第2四半期末（2022年8月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	45,670	56,477
受取手形及び売掛金	5,620	2,875
商品	85,363	66,426
その他	4,907	5,835
貸倒引当金	△416	△398
流動資産合計	141,146	131,215
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	37,102	38,447
減価償却累計額	△16,061	△16,091
建物及び構築物（純額）	21,040	22,355
車両運搬具	298	237
減価償却累計額	△60	△105
車両運搬具（純額）	238	132
工具、器具及び備品	4,279	4,559
減価償却累計額	△3,114	△3,236
工具、器具及び備品（純額）	1,164	1,323
土地	136	136
建設仮勘定	1,083	1,102
有形固定資産合計	23,663	25,050
無形固定資産		
ソフトウェア	1,465	1,391
のれん	5,995	90
その他	4,314	2
無形固定資産合計	11,775	1,484
投資その他の資産		
投資有価証券	20	0
関係会社株式	129	29
長期貸付金	228	81
敷金及び保証金	4,405	4,788
建設協力金	4,289	4,167
繰延税金資産	3,677	6,015
その他	438	428
貸倒引当金	△8	△6
投資その他の資産合計	13,181	15,505
固定資産合計	48,620	42,039
資産合計	189,766	173,255

	当連結会計年度末（2022年2月28日）	当期第2四半期末（2022年8月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	23,618	4,790
短期借入金	1,101	-
1年内返済予定の長期借入金	10,000	30,000
未払金	4,713	2,143
未払法人税等	3,960	1,407
前受金	9,548	-
契約負債	-	20,335
預り金	215	176
賞与引当金	1,965	1,561
商品保証引当金	884	-
その他の引当金	1,327	408
その他	3,750	4,561
流動負債合計	61,085	65,383
固定負債		
長期借入金	67,523	47,145
長期預り保証金	587	613
資産除去債務	2,236	2,371
繰延税金負債	1,535	-
その他の引当金	680	-
その他	407	183
固定負債合計	72,972	50,312
負債合計	134,057	115,696
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,157	4,157
資本剰余金	4,361	5,250
利益剰余金	49,673	51,669
自己株式	△4,344	△4,344
株主資本合計	53,847	56,732
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	168	291
その他の包括利益累計額合計	168	291
非支配株主持分	1,693	533
純資産合計	55,709	57,558
負債純資産合計	189,766	173,255

[連結]キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	2022年2月期 第2四半期	2023年2月期 第2四半期
税金等調整前四半期純利益	7,951	9,181
減価償却費	1,406	1,322
のれん償却額	239	106
運転資本増減	1,275	△2,674
法人税等の支払額	△1,815	△2,786
その他	△976	2,143
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,081	7,292
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,204	2,220
フリー・キャッシュ・フロー	6,877	9,513
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,462	986
換算差額・新規連結に伴う増減額	△107	306
現金及び現金同等物の増減額	4,306	10,806
現金及び現金同等物の期首残高	43,179	45,670
現金及び現金同等物の期末残高	47,502	56,477